



御在所の風

3

志布志市立田之浦小学校
学校だより 文責：長野則子
令和4年3月22日発行

教育目標 「心豊かでたくましい体をもち、自ら学ぶ『田之浦っ子』を育成する」
めざす子どもの姿 【やさしく】思いやりの心をもち、相手を尊重できる子
【かしこく】自ら学び、考え、粘り強く学習を続ける子
【たくましく】命の大切さを知り、自ら鍛える子



卒業・修了のとき～自信と希望をもって、進学・進級～

校長 長野 則子



二百段階段や校内の桜が1日1日花の数を増やしています。駐車場近くでは、こぶしの木にたくさんの白い花が咲き、黄色い菜の花も満開です。学校の周りの木々からはウグイスのきれいな鳴き声も聴こえてきます。

3月下旬、学校では間もなく卒業式・修了式を迎えようとしています。

子供たちはこの1年でどんなことが「分かるように」「できるように」なったでしょうか。きっと多くのことが「分かり」多くのことを「できる」ようになったのではないかと思います。

「分かるようになったこと」、漢字や計算、ローマ字、星座や天気、志布志市や鹿児島県のこと、食事や睡眠の大切さなど、それぞれの学年で学習し分かるようになったことがたくさんあるでしょう。

また、「できるようにになったこと」には、縄跳び、逆上がり、リコーダー、跳び箱、一輪車、大きな声でのあいさつ、くつのかかとをそろえるなど、練習したことや日々の生活で心がけて実践したことでできるようになったこともたくさんあると思います。

縄跳びの練習を頑張っていた1年生が、今では1分間に100回ちかく跳べるようになりました。かけ算九九をすらすら唱えられるようになった2年生。理科で学習したことを生かしておもちゃを作った3年生。タブレットでローマ字をどんどん打てるようになった4年生。体力づくり「田之浦10のチャレンジ」の全てを達成した5年生。他県の小学生とのリモート学習やプログラム学習で作曲にチャレンジした6年生。この1年を通して、努力を続け成長した子供たちの姿に多くの感動をもらいました。

「継続は力なり」「千里の道も一歩から」、すぐには結果が見えないことがあるかもしれませんが、しかし、続けることで大きな力となったり、習慣になり身に付いたりすると思います。ぜひ、子供たちの日々の努力を見つめ、褒め、認め、励ましてあげてください。これからも子供たち一人一人が自信をもち、大きな夢へと努力を続けていける田之浦っ子であってほしいと思います。

いよいよ卒業・進級の時期です。子供たち一人一人が自分の分かるようになったことやできるようになったことを確かめ、自分の成長を喜び、希望を持って進学・進級してほしいと思います。

令和3年度もコロナ禍での毎日となりましたが、子供たちは日々の感染症対策を行い、保護者や地域の皆様の御協力をいただき、この1年間で多くのことを学び、体験することができました。本当にありがとうございました。また、保護者の皆様には、毎日の検温・マスクの準備など、お忙し中対応いただきましたことにも心から感謝申し上げます。

